



新たな『仕事』『作業』の創出をしたいということで



「苔谷「農」×「福」連携プロジェクト」

古民家ラボ 歩木-hoco- × 特定非営利活動法人周南のぞみ会

- 教育・子育て 地域づくり 福祉・健康・医療 産業・観光 その他（国際交流）
 生涯学習・人権 安心安全 都市基盤 環境共生



古民家ラボ 歩木-hoco-
西川 満希子



しいたけ栽培をすることで「集落」に人が来るようになり

限界集落の地域活性化と障害者の就労問題解決

原木椎茸栽培で耕作放棄地、空き家の活用に取り組むとともに
農産物栽培や観光農園の開設での地域活性と、農産物の加工・出荷作業による
障害者の就労機会の確保、農業現場における人材確保を目的とする。

PROJECT POINT

- 1 限界集落の耕作放棄地、空き家の活用
- 2 農産物栽培や観光農園の開設での地域活性
- 3 新たな雇用の創出による障害者の就労機会と農業現場における人材確保

APPROACH

農産物栽培や観光農園の開設による低賃金改革と土地の再生による地域活性化

“苔谷「農」×「福」連携プロジェクト”の取り組み

過疎化・高齢化が進んだ苔谷の耕作放棄地、空き家を原木椎茸栽培に活用し、土地や空き家を再び蘇らせた。また、人が集落に行き来することで地域活性化に繋げることができた。障害者の賃金が山口県の平均水準を下回っている現状から脱却するため、農業現場における人材の確保や農産物栽培・観光農園を開設し、農産物の加工や出荷作業における就労機会の場として障害者を雇用し、賃金水準の上昇を図った。

“苔谷「農」×「福」連携プロジェクト”の目標

障害者の就労機会の場が山口県全体で少ないので、このプロジェクトを続け、障害者の就労の機会を増やしていく。また、苔谷には耕作放棄地、空き家が沢山あるので農産物栽培や観光農園、原木椎茸栽培にさらに活用していく。

【取材日：2018.01.31】